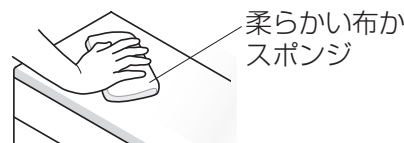
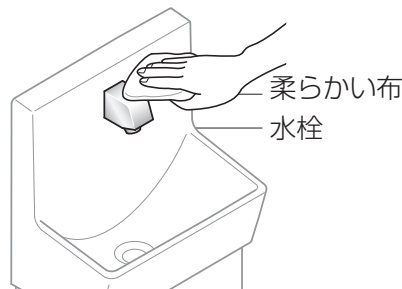
お手入れ　水栓・センサー部など

※自動水栓は搭載品のみ

手洗器・キャビネット・カウンター・ビルトインリモコン・紙巻器

① うすめた中性洗剤をつけてふく

② 水ぶきのあと、からぶきする

・間口調整フィラーの切断面の汚れがひどいときは、白い消しゴムで消す。

水栓

ふだんは使うたびにからぶきします。

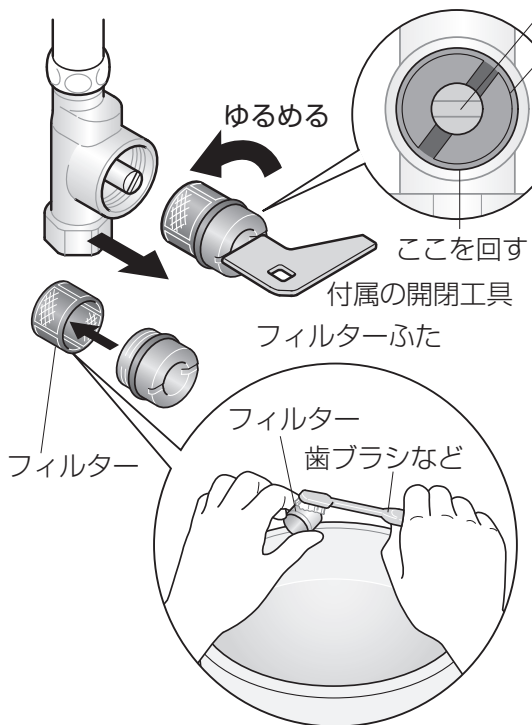
■ 軽い汚れの場合

水またはぬるま湯に浸した柔らかい布をよく絞って、スパウトおよびセンサー部の汚れをふき取ってください。

■ ひどい汚れの場合

適量に薄めた中性洗剤を含めた柔らかい布で汚れをふき取ったあと、水ぶきしてからからぶきをします。

給水フィルター（自動水栓の場合）

■ 水量が少なくなってきたら…

① 止水栓を閉める（P.11）

② フィルターふたを外す

・水がこぼれることがあるので、ぞうきんなどを用意する。

③ フィルターを外し、掃除する

・洗剤は使わない。
・フィルターに無理な力を加えない。（変形の原因）

④ フィルター・ふたを元どおり取り付ける

⑤ 止水栓を開ける(P.11)

・止水栓・配管接続部から水漏れがないか、確認する。

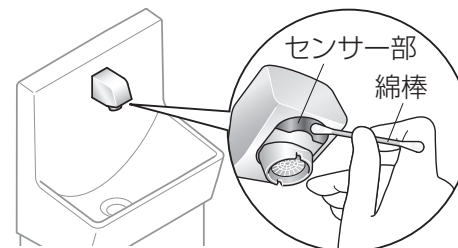
⚠注意

止水栓を開けたまま、フィルターを外さない
（水が噴き出し、家財などをぬらす財産損害発生の原因）

・フィルターの汚れ・目詰まりがひどいときは、交換する。（P.28）

●システムシリーズ・セレクトシリーズの自動水栓の、お手入れは（自動水栓の取扱説明書参照）

●電気温水器の、お手入れは（電気温水器取扱説明書参照）

センサー部（自動水栓）

① 止水栓を閉める（P.11）

② 綿棒で水ぶきする

・ひどい汚れは、うすめた中性洗剤をつけてふいた後、水ぶきする。
・センサー面を傷つけないよう注意する。

泡まつキャップ

■ 水量が少なくなってきたら

① 止水栓を閉める(P.11)

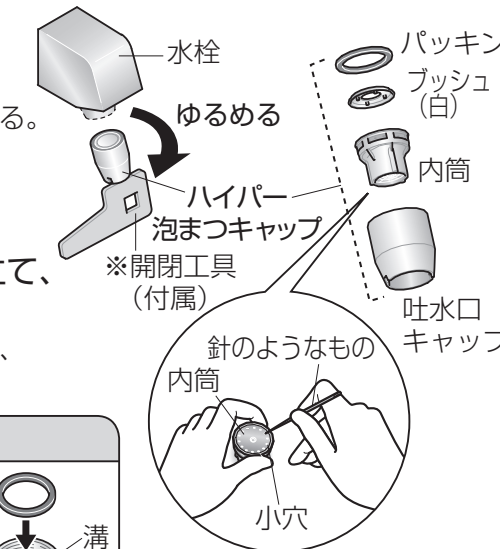
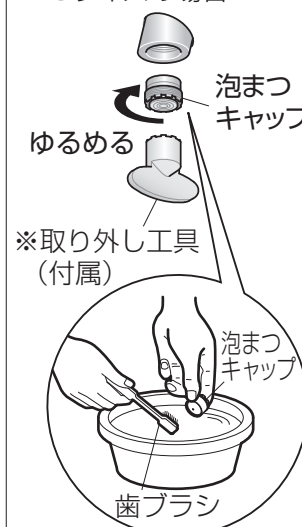
② 泡まつキャップを外し、分解する

・センサー面を傷つけないよう注意する。
・パッキンを針金などで外してから、ブッシュ・内筒を外す。

③ 内筒の小穴のゴミを取り除く

④ 泡まつキャップを元どおり組み立て、取り付ける

・取り付けは、まず手で固く締めた後、開閉工具で約 90°締める。

⚠注意

パッキンは、吐水口キャップ内の溝に挿入する
（水漏れで家財などをぬらす財産損害発生の原因）

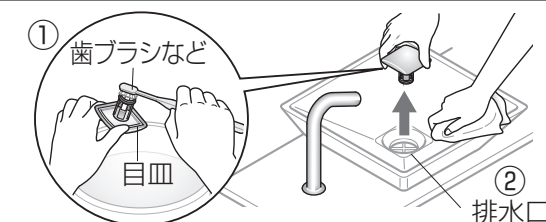
※水栓により使用工具が異なる場合があります。

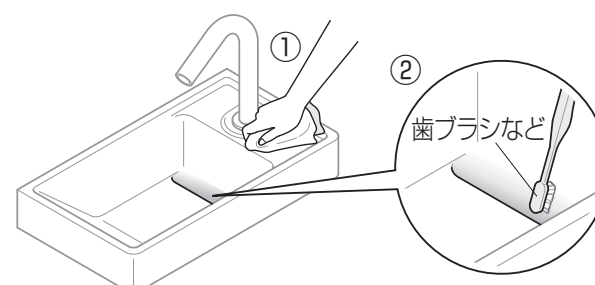
目皿・排水口まわり

・目皿があるのは、M／Lサイズ（セレクトシリーズ）のみです。
・カビ・水あかなどは一度付着すると落としにくいので、こまめにお手入れしてください。

① 目皿を引き抜きゴミを取る

② 目皿・排水口まわりを柔らかい布でふき目皿をはめ込み、しっかり押さえつける

・目皿を落とさないよう注意する。（手洗器が傷つく原因）

水あかやもらいさびの除去には
▶TOTOきらりあ蛇口まわりのクリーナー品番THYZ3 をおすすめします。

スリット排水口まわり（システムシリーズ）

① 柔らかい布、スポンジ等で汚れを拭き取る

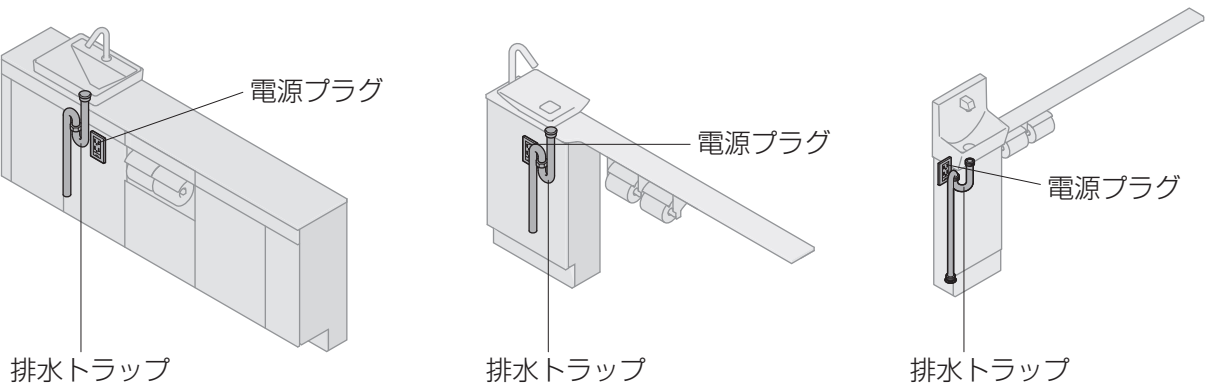
② 排水口周辺を歯ブラシ等で汚れを取る

※清掃しにくい部分はボトル用ブラシ等を用いて清掃してください

■ 排水口周辺の汚れがひどい場合

適量に薄めた中性洗剤を含めた柔らかい布で汚れをふき取ったあと、水ぶきしてください。

お手入れ（手洗器排水トラップなど）

システムシリーズ	セレクトシリーズ	スリムタイプC

手洗器排水トラップ

手洗器の水はけが悪くなったら洗浄する

市販の弱アルカリ性「排水パイプ用洗浄剤」（粉末タイプ）

⚠注意

禁止

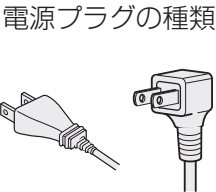
アルカリ性の排水パイプ洗浄剤（液体タイプ）は使わない
（排水管を傷め、水漏れで家財などをぬらす財産損害発生の原因）

電源プラグ

① 電源プラグを抜く
② 刃などのほこりを取る
③ プラグを、根元まで差し込む

電源プラグの種類

⚠警告

必ず守る

- 電源プラグのお手入れは、コンセントから抜いて行う
（感電の原因）
- コンセント・電源プラグのほこりなどを取り除き、根元まで差し込む
（火災・感電の原因）

禁止

- 水をかけたり、酸性・アルカリ性洗剤、シンナーなどは使わない
（火災・感電・故障・損傷の原因）

床

水ぶきする

⚠注意

必ず守る

床に落ちた露・洗剤・水などは、よく絞った柔らかい布でふく
（床のシミ・腐食の原因）

こんなときは

疑問に思ったとき、困ったときに

- ■冬場の凍結を防ぐには？
- ■定期的な点検の方法は？
- ■扉のすき間が気になってきたら？
- ■故障かな？と思ったら？

冬場の凍結防止・長期間使わない場合

※電気温水器、自動水栓は搭載品のみ

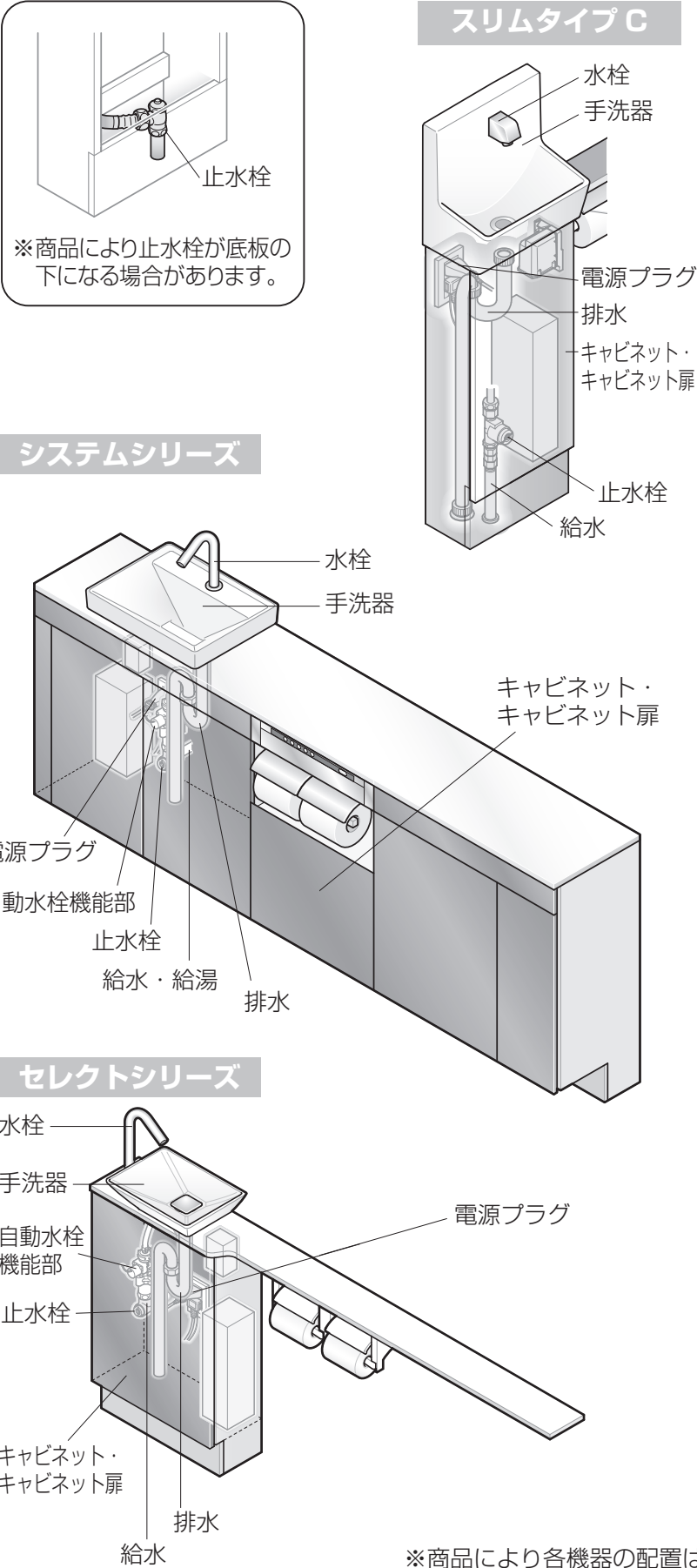
凍結を防ぐ

ご注意
- 凍結すると、機器の破損による水漏れの原因になります。（凍結による破損は、保証期間内でも有料修理）
- トイレ内の温度も、暖房などで 0℃以下にならないようにしてください。

流動方式	■ ハンドル式水栓 少量の水を流し続ける。
水抜方式	準備：水抜栓（他社製）を排水（水抜）側に切り替える。 （操作方法は、水抜栓の取扱説明書参照） ● 止水栓（P.11）は開けたままにする。 ■ ハンドル式水栓 ①水栓を開ける（2 ～ 3 分で水が抜ける） ②水栓を閉める ■ 自動水栓 ①センサーに手をかざし、水が出ないことを確認する ②水栓の電源プラグを抜く ③自動水栓機能部の手動弁を開ける（2 ～ 3 分で水が抜ける） ④手動弁を閉める キャビネットタイプ　ブラケットタイプ 閉める　開ける　手動弁　開ける　閉める　手動弁 長期間使わないときは、水抜き後、手洗器排水口に不凍液（市販品）を入れる。

長期間使わない場合

- 水抜き後、止水栓（P.11）を閉める。（水漏れを防ぎます）

※商品により各機器の配置は異なる場合があります。

定期的な点検

経年劣化による重大事故を防ぎ、より長く、安全・快適にお使いいただくために、お客様ご自身で以下の点検をしてください。

不具合があった場合は
ＴＯＴＯメンテナンス（株）修理受付センター
TEL 0120-1010-05
またはお求めの販売店へご連絡ください。

点検部位	点検項目	危害情報	点検時期	実施日（年 / 月 / 日）	
手洗器	傷・ひび割れ	けが、床への水漏れ	年 1 回以上	/ /	/ /
キャビネット扉	丁番・ヒンジ（開閉部品）のがたつき・はずれ	落下によるけが	年 1 回以上	/ /	/ /
キャビネット	切断面のささくれ・ふやけ・膨れ	けが	年 1 回以上	/ /	/ /
水栓	湯温変化が激しい（他水栓の同時使用なし）	やけど	年 1 回以上	/ /	/ /
	レバーのがたつき、動きが悪い	床・階下への水漏れ	年 1 回以上	/ /	/ /
給水・給湯	給水・給湯配管接続部からの水漏れ	床・階下への水漏れ	年 1 回以上	/ /	/ /
排水	排水管・排水トラップの傷・ひび割れ	床・階下への水漏れ	年 1 回以上	/ /	/ /
電源プラグ	ほこりの付着	やけど、火災	月 1 回	/ /	/ /

こんなときは